



日時 2016年4月20日(水) 2:00pm~5:00pm
会場 男女共同参画センター ムーブ5階 大セミナールーム
北九州市小倉北区大手町11番4号

1. 開会宣言 「子供たちの未来のためにどのようなエネルギーを選ぶのか」

◆経済成長をあきらめない豊かな社会を次世代に残すために、われわれはどのような選択をすべきか。

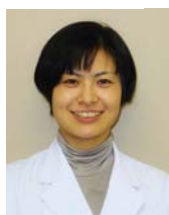


遠藤典子氏 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特任教授 博士(エネルギー科学、京都大学) 経済誌副編集長などジャーナリスト活動などを経て現職、教育、研究活動に従事。専門は公共政策、エネルギー政策、リスクガバナンス。『原子力損害賠償制度の研究—東京電力福島原発事故からの考察』(岩波書店)で第14回大佛次郎論壇賞受賞。総合資源エネルギー調査会原子力小委員会、産業構造審議会産業技術環境部会等委員として、エネルギー・環境政策への提言を行っている。

2. 講演およびトークセッション 講演「原発事故の放射能被害に対する誤解」

◆われわれは常に放射線の影響を受ける環境で生活している。福島の人々を苦しめているのは、放射能による被害というよりも、誤解から生まれた風評被害や避難生活からくる健康被害である。

講演



越智小枝氏 相馬中央病院 内科診療科長
膠原病内科臨床医として東京で10年ほど勤務。2011年インペリアルカレッジロンドン公衆衛生大学院への留学が決まった直後に東日本大震災があり、留学中に相馬市の仮設健診などに参加。World Health Organization、Public Health England のインターン経験を経て、やはり現場を知ることが大切と考え、2013年11月より相馬へ移住、現職に至る。公衆衛生修士、医学博士、リウマチ専門医、日本体育協会認定スポーツ医

モデレーター



近藤寛子氏 マトリクスアソシエイツ LLP 代表
事業コンサルティングとして、コミュニケーションの観点から、生産活動の在り方改善を支援。原子力安全行政の在り方調査、原子力発電事業者の業務プロセス診断・設計、風土改革等に携わる。アルコア アジア、日本 IBM、アクセンチュアを経て、2015年にマトリクスアソシエイツ LLP を設立、代表に就任。アクセンチュア シニアアドバイザー兼務。

3. パネルディスカッション 「エネルギーと経済社会」

◆次世代の暮らしにおいて、エネルギーはどのように使われるのか。私たちはどのようなエネルギー経済社会を選択すべきなのか。

パネリスト



井原慶子氏 カーレーサー 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科特任准教授
モデルからレーサーに転身。世界70か国を転戦し、2014年には、女性初で世界選手権連続表彰台の快挙を果たし世界最速女性ドライバーとなった。地域の子どもたちへ英語を教える活動や慶應義塾大学特任准教授として教育活動にも携る。自動車産業や自治体と共に環境車のインフラ整備や女性が活躍しやすい環境作りに力を注いでいる。FIA 国際自動車連盟アジア代表委員、経済産業省産業構造審議会 2020 未来開拓部会委員、外務省ジャパンハウス諮問委員などを歴任。



中空麻奈 氏 BNP パリバ証券投資調査本部長
野村総合研究所、のち野村アセットマネジメント転籍。以降クレジットアナリシスに従事。モルガン・スタンレー証券などを経て、08年よりBNPパリバ証券クレジット調査部長、のち現職。『日経ヴェリタス』債券アナリスト・エコノミストランキング、クレジットアナリスト部門、3年連続第1位、2015年1位。現在、財政制度等審議会財政制度分科会、内閣府コメンテーター委員。日本EU学会会員。著書『ユーロ連鎖不況』、『グローバル金融規制の潮流』など多数。



吉田晴乃 氏 BT ジャパン社長
慶應義塾大学卒業後、25年にわたり日本、カナダ、米国、英国でモトローラ、NTT、ベライゾン、BTなどのグローバルICT企業に従事。2012年に現職。女性の少ないテクノロジー業界で日本人として世界市場での営業実績、ワーキングマザーとしての経験が新たなロールモデルとして注目されている。2015年6月、日本経済団体連合会の審議員副議長に史上初の女性として就任。欧州ビジネス協会/在日欧州（連合）商工会議所の電気通信事業者委員会の委員長も務めている。



依田雅子 氏 オーストラリア大使館 シニア・リサーチ・オフィサー
旅行会社にて営業、マーケティングを経験後、英国大使館入館。貿易対英投資部にて、日系ICT企業の英国ビジネス誘致に従事。環境・エネルギー部にて、低炭素政策調査と共に、英国気候変動政策アドボカシー活動を担当。
2014年よりオーストラリア大使館 資源産業部リサーチオフィサーとして日豪資源・エネルギー政策調査に従事している。

モデレーター



竹内純子 氏 国際環境経済研究所理事・主席研究員
筑波大学客員教授、21世紀政策研究所研究副主幹。1994年東京電力入社。2012年より現職。国立公園「尾瀬」の自然保護に10年以上携わり、その後、地球温暖化の国際交渉や環境・エネルギー政策への提言活動等に関与し国連の気候変動枠組条約交渉にも参加。環境及び環境コミュニケーションに携わる。著書に『みんなの自然をみんなで守る20のヒント』（山と溪谷社）、『誤解だらけの電力問題』（WEDGE出版）、『電力システム改革の検証』（共著）（白桃書房）

【定員】 先着 150 名 **【参加料】** 無料 **【申込締切】** 4月13日（水）
【主催】 慶應義塾大学 SFC 研究所
【共催】 経済産業省、北九州市、G7 北九州エネルギー大臣会合推進委員会
【お問合せ先】 北九州市女性の輝く社会推進室男女共同参画推進課 担当：諸熊
TEL：093-582-2405 E-mail：sou-danjo@city.kitakyushu.lg.jp

お申込方法 メール・FAX・お電話のいずれかにてお申し込みください。

- ◆メールの場合 氏名、所属・役職/学校名・学年、連絡先電話番号をメール本文に記載して送信
E-mail：sou-danjo@city.kitakyushu.lg.jp
- ◆お電話の場合 TEL：093-582-2405【電話受付時間 9:00～17:00】（土日祝を除く）
- ◆FAXの場合 下記内容をご記入の上、本紙を送信してください。

FAX:093-582-2624

ご芳名 (ふりがな)	ご所属・役職/学校名・学年	ご連絡先電話番号	お持ちの方は メールアドレス

※ご記入いただいた個人情報等は、運営管理や今後のイベントのお知らせに活用させていただき、第三者に提供することはありません。